

今年度も下北教育事務所の主管事業への参加や御協力をいただき、ありがとうございました。

今年度を振り返り、事業の概要を紹介をします。

令和6年度 複式学級担任者研修会

【期日】令和6年6月21日（金） 【場所】佐井村立佐井小学校

【目的】複式学級担任者に対して複式学級の学習指導及び学級経営等について研修を行うことにより、指導力の向上を図る。

【内容】○オリエンテーション

説明者 佐井小学校 教頭 橋本 賢吾

○提案授業 4・5学年算数科

単元名 4年「垂直・平行と四角形」 5年「合同な図形」

授業者 佐井小学校 教諭 柳谷 太一



全教職員のチームワークが鍵

複式指導においては、「複式形態の利点」を生かし、一人一人に応じた柔軟な指導をすることが大切です。本研修会の会場である佐井小学校では、「ガイド学習」の指導を1年生から段階を踏んで取り入れています。

提案授業では、授業者の柳谷先生が児童一人一人に寄り添う姿がありました。また、間接指導時に児童が自ら学習を進められるよう、教材の準備やICT活用の工夫をしていました。

研究協議では、参加者がそれぞれ自校の児童の姿を思い浮かべながら、指導の工夫について様々な意見を交わしていました。

複式指導は準備や実践において困難さを感じると思います。そのため、日頃から授業者が悩みを相談し、全教職員で共有できるチームワークが鍵となります。全教職員が笑顔で授業づくりについて語り合える職場でありたいと思います。

参加者のみなさまの声

- ・複式学級の担任をしているが、他の先生の授業を見る機会がなかなかないため、大変勉強になった。
- ・複式授業の進め方やガイド学習など、参考になった。授業者の優しい声がけや児童への接し方がとてもよかった。
- ・複式指導でのICT活用を見ることができてよかった。授業のねらいを達成するための手段として活用したい。

『へき地・複式教育
ハンドブック
【事例編】』
(青森県教育委員会)

これからのへき地・複式・
小規模校教育 ※動画
(独立行政法人教職員支援機構)



↓
(上)



↓
(下)



令和6年度 小・中学校生徒指導研究協議会 兼 安心できる学校づくり研修会

【期日】令和6年7月2日（火） 【場所】むつ来さまい館

【目的】(1) 不登校の予防のため、児童生徒理解を進めていくとともに、家庭環境など子どもたちを取り巻く様々な背景を理解し、多様な視点をもって生徒指導を進めていく資質の向上を図る。

(2) 管内の現状を踏まえ、ハートフルリーダーを中心としたいじめ防止対策の活性化といじめ問題への対応についての理解を深め、学校の組織的対応力及び教員の指導力の向上を図る。

【内容】講義・演習：午前「FR式不登校対応チャートによる支援」 午後「発達障害と不登校」

講師：FR教育臨床研究所 所長 花輪 敏男 氏

児童生徒一人一人に応じた支援を

不登校児童生徒の増加傾向が見られる今、改めて学校として、一人の教員としてできることを考えていくことが求められています。本研修会では、花輪氏を講師に招き、不登校に対する捉え方や具体的な支援の在り方について参加者全員で考えました。答えはありません。目の前の子供の中にだけ、ヒントが見えるはずですよ。

参加者のみなさまの声

- ・不登校の原因の追究ではなく、子供にポジティブな刺激を与えながらガソリンを入れられるようにしたい。
- ・学校と家庭の道をつないでおくことの大切さを学んだ。
- ・教員である私たちの認識や学校体制の改善が必要だと感じた。

令和6年度 小・中学校道徳教育研究協議会①



【期日】令和6年7月24日（水） 【場所】むつ来さまい館

【目的】小学校及び中学校における道徳教育の充実徹底を期するため、道徳教育実施上の諸問題を研究協議し、その解明を図り、教員の実践的指導力の向上を図るとともに、保護者や地域住民との交流を深め、相互の理解を図ることにより、学校及び地域社会における道徳教育の一層の充実に資する。

【内容】講義：「全体計画と年間指導計画の工夫について」

講師：文部科学省 初等中等教育局教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター 研究開発部
教育課程調査官 堀田 竜次 氏

「量的確保、質的転換」から「質的充実」へ

これまで、各校において多くの先生方の努力により、「特別の教科 道徳」の授業の量的確保や、「考え、議論する道徳」への質的転換が図られてきました。本研修会において、講師にお招きした堀田調査官からは、「今後は『質的充実』を目指していくこと」が示されました。そのためにも、自校の教育課題や児童生徒の実態に即して、各内容項目の指導時期や時数など、学校独自の全体計画及び別葉の作成が求められています。

今一度、道徳教育推進教師を中心に、学校全体で道徳教育の諸計画について確認と改善をお願いします。

参加者のみなさまの声

- ・初めて道徳教育推進教師になり、全体計画の作り方や各学年の先生方との連携の仕方でも悩んでいたが、進め方を理解することができた。
- ・授業構想のポイントも教えていただき、参考になった。
- ・「質的充実」を目指す今、改めて全体計画の重要性を実感した。
- ・自校の年間指導計画をすぐに見直し、重点内容項目に関わる授業の配置を確認しようと思った。

令和6年度 体育・食育の楽しさアップ研修会

【期日】令和6年8月19日（月） 【場所】むつ市中央公民館、むつマエダアリーナ

【目的】本県のこどもたちの健康課題解決のために、小学校中学年において、小学校学習指導要領に則った「楽しい体育」の実現と「食に関する指導」の具体的な授業構成及び指導方法について体験的に研修を行い、小学校教職員の資質向上を図る。

【内容】講義演習「中学年における楽しい食育（朝食づくり）の指導」

講師：武庫川女子大学教育学部教育学科 教授 藤本 勇二 氏

実技演習「中学年における楽しい体育・単元づくりの指導」

講師：国土館大学文学部教育学科 教授 細越 淳二 氏

『小学校体育（運動領域）指導の手引』



食に関する指導の土台は・・・

「食の指導をどうすればいい?」「専門的な指導ができる人がいれば…」と悩まれる先生方も多いかもしれません。指導の土台は、「毎日の昼食（給食）の時間」です。学級担任が毎日少しずつ進める指導にこそ価値があります。

★食習慣形成の促進には

①関わりのある人の存在

みなさんの言葉がけ、授業

②環境構成

栄養教諭や養護教諭との連携、掲示、校内放送

③授業の質

必要感や気付きを引き出す学活、個別最適と協働

児童との楽しい時間の共有や

体験活動【給食（昼食）・教科等連携】の充実に

オンライン質問箱 ~おしえてSKJ~

続々と御活用いただいております

活用例①：情報モラル教室を初めて担当することになったが、講師の選定や進め方について情報がほしい。

活用例②：「いじめアンケート」作成の参考様式があれば、紹介してほしい。

教育課題連絡会議に関する御意見、御質問もお待ちしております



Googleフォームでの
申込みはこちらから →



「教育だより」を読んだ方は、こちらのアンケートへご協力お願いします！



感謝